

教科用図書選定に関する経過報告書

第九地区教科用図書採択協議会

第九地区内の市町立小・中学校及び義務教育学校において使用する教科用図書を公正かつ適正に選定するために、第九地区教科用図書採択協議会を設置するとともに調査研究を重ね、選定業務を完了した。

以下、公正かつ適正な選定に至るまでの経過、結果及び理由並びに採択協議会委員名及び選定委員会委員名を明らかにする。

1. 本協議会並びに諸委員会の経過

(1) 第九地区教科用図書採択協議会

- ・ 4月25日（火）平成29年度第九地区教科用図書採択協議会委員及び役員について、第九地区教科用図書採択協議会規約について、第九地区教科用図書採択協議会の文書開示に関する要項について、教科用図書採択事務運営要項について、教科用図書の採択に係る組織及び事務局の組織について、選定委員会委員の選考について、平成29年度第九地区教科用図書採択協議会予算について、平成29年度第九地区小学校教科用図書採択日程について等の検討
- ・ 5月31日（水）学識経験者、保護者代表、選定委員会委員の選考等を審議の上、決定等、選定委員会委員に対して調査審議を諮問
見本巡回展示を計画
- ・ 8月2日（水）選定委員会の答申を受け一種の小学校教科用図書（道徳）を選定
- ・ 8月2日（水）第九地区内の市町教育委員会に選定の結果を通知

(2) 選定委員会

- ・ 5月31日（水）採択協議会の諮問を受け日程等の確認、また、各学校への意見書提出要請を計画
- ・ 7月12日（水）教科用図書採択に係る各学校からの意見書提出、整理
- ・ 7月14日（金）小学校調査研究部の調査研究結果の審議
- ・ 7月28日（金）学識経験者、保護者意見聴取 答申案作成
- ・ 8月2日（水）三種の小学校教科用図書（道徳）を採択協議会に答申

2. 選定の結果（小学校）

教科用図書 教科（種目）	発行者の		書 名	備 考
	番号	略称		
道 徳	2	東書	新しいどうとく	

3 選定した教科用図書

教科書 種目	発行者の		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	2	東書	新しいどうとく

選定理由

- (1) 内容の範囲及び程度
 - ・ 特別の教科道徳の目標達成に結びつく内容になっており、四つの視点に分類された内容項目についての学習ができるようになっている。
 - ・ 内容の程度は、各学年の児童の発達段階に応じた教材が取り上げられ、学習のねらいにおうじて重点化が図られている。
- (2) 内容に関する配慮事項
 - ・ 巻頭にある第1学年「ようこそ1ねんせい」第2学年から第6学年「道徳の学習を進めるために」「話合いの約束」「道徳の時間が始まるよ！」が設定され、挿絵、吹き出し等を効果的に使いながら、児童にもよく分かるように学ぶ内容や方法が示されていて、各学年の発達段階に応じた学習が展開できるように示されている。
 - ・ 第3学年から第6学年において、「つながる・広がる」が設定され、巻末の付録において、他教科や実生活との関連が図れるように配慮されている。
 - ・ 「道徳の時間が始まるよ！」では、「ちょっとみんなで話し合ってみよう」を設定され、各学年に応じたショートストーリーを掲載し、書く欄を設けて児童に考えを書かせ、ミニ道徳授業の体験ができるようにして、児童が特別の教科道徳の時間の授業イメージをもつことができるように示されている。
 - ・ 各学年に「出会う・ふれあう」を設定され、読み物教材と関連を図り、コミュニケーション活動をとおして、自分の思いや考えをもって学級の友達と話し合う活動が促され、友達との人間関係を深めることができるとともに、道徳的価値についてより深く、多面的多角的に考える活動ができるように配慮されている。
 - ・ いじめをしない、ゆるさない心を育てるために三つの要素からなる「いじめのない世界へ」を全学年で設定されている。その三つの要素は、これからいじめについて考えることを示唆する「とびらのページ」、関連する道徳的価値をねらいとする「間接教材」、いじめを直接的に扱った「直接教材」の3教材をユニットとして考え、6年間をとおして系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。
 - ・ 「生命の尊さ」の内容項目については、全学年3教材が配置され、全学年をとおして、指導の重点化が図れるような配置がなされている。
 - ・ 第3学年以上の学年に「問題を見つけて考える」が設定され、それは問題を自ら発見する「とびらのページ」問題を焦点化する「読み物教材」考えを深め議論する「考えるステップ」で構成され、問題解決的な学習を引き出す指導の展開ができるように配置されている。
 - ・ 読み物教材一つ一つに「学習のテーマ」が示され、何について学習するかについてわかるようになっている。また、読み物教材には、ねらいにせまる発問の例示、児童のわかったこと生かしていくことを引き出す発問が例示され、確実に内容を身につけていくことができるように配慮されている。
- (3) 分量
 - ・ 第1学年の34単位時間及び第2学年から第6学年までの35単位時間分の全体の分量として適切である。
 - ・ 学習指導要領に示してある四つの視点によって構成された内容項目のまとまりについて、偏りなく適切に配分されている。
- (4) 使用上の便宜
 - ・ 読み物資料は、写真や挿絵が適切に配置され、児童の読み物資料に対する内容理解や学習活動の理解が促されたりする等、学習の深まりに有効に働くよう構成されている。
 - ・ 巻末に振り返りのページがあり学期毎に気づきや考えを記述できる。また、「出会う・ふれあう」「問題を見つけて考える」においても、児童の考えを記述するところがあり、児童自身の成長の記録として残すことができる。
情報モラルの学習では、「おうちの人といっしょに考えよう。」という設定がなされ、家庭との架け橋の役割も果たすことができる。これらのことは、学習を進める上で、地域や家庭の様々なでき事との関連や自己理解の深まりに有効に働くよう設定されている。
- (5) 印刷・製本等
 - ・ 印刷は鮮明であり、読みやすい文字の大きさ、字体、行間であり、製本の様式も適切である。
 - ・ 横に広いA B版で見やすい。
 - ・ 環境にやさしい再生紙・植物性インクを使用している。

4. 委 員 名

(1) 第九地区教科用図書採択協議会

会 長	記 伊 哲 也	大川市教育委員会	教育長
副会長	安 田 昌 則	大牟田市教育委員会	教育長
監 事	平 山 浩 一	大木町教育委員会	教育長
委 員	長 岡 廣 通	みやま市教育委員会	教育長
委 員	日 高 良	柳川市教育委員会	教育長

(2) 選定委員会

委員長	みやま市立開小学校	萩島 安彦
副委員長	柳川市立二ツ河小学校	横田 辰也
委 員	大川市立宮前小学校	藤岡 忠司
委 員	大木町立大莞小学校	原尻 健司
委 員	学識経験者	藤木 寿美枝
委 員	保護者代表	江口 義満